dataSplit

データを切り出すプログラム

操作説明書

2017年3月2日

有限会社スピナッチパワー

目次

[本プログラムについて 3](#_Toc476230408)

[全体の流れ 3](#_Toc476230409)

[起動する 4](#_Toc476230410)

[入力元ファイルを指定する 5](#_Toc476230411)

[ファイルの分割条件を指定する 6](#_Toc476230412)

[項目説明 7](#_Toc476230413)

[出力フォルダの指定 8](#_Toc476230414)

[実行 9](#_Toc476230415)

[処理完了 10](#_Toc476230416)

[ファイルの命名規則 11](#_Toc476230417)

[検索条件指定サンプル 12](#_Toc476230418)

## 本プログラムについて

このプログラムは入力データを指定した条件で分割するプログラムです。

## 全体の流れ

このプログラムでの作業の流れを示した図が図１です。このプログラムを使用することで一つのファイルから条件を指定して条件ごとにファイルを出力することが出来ます。



図１　全体の流れ

## 起動する

CD-ROMよりセットアップされたPCには図２のようなアイコンがデスクトップ上に作成されます。



図２　デスクトップに作成されたアイコン

このアイコンをダブルクリックすることで本プログラムは起動します。起動直後の画面は図３のとおりです。

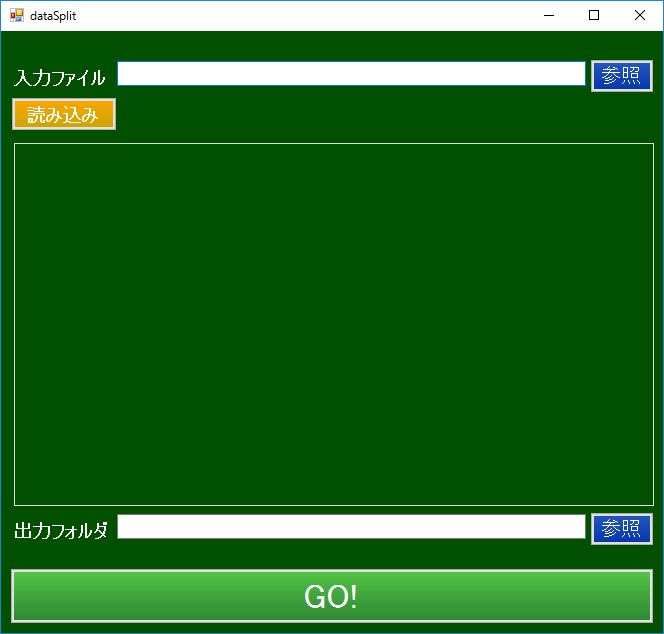


図３　起動画面

この画面より入力ファイルを選択します。

## 入力元ファイルを指定する

図３の画面より入力ファイルの参照をクリックすると図４ファイル選択画面が表示されます。

この画面よりファイルを選択して開くをクリックします。

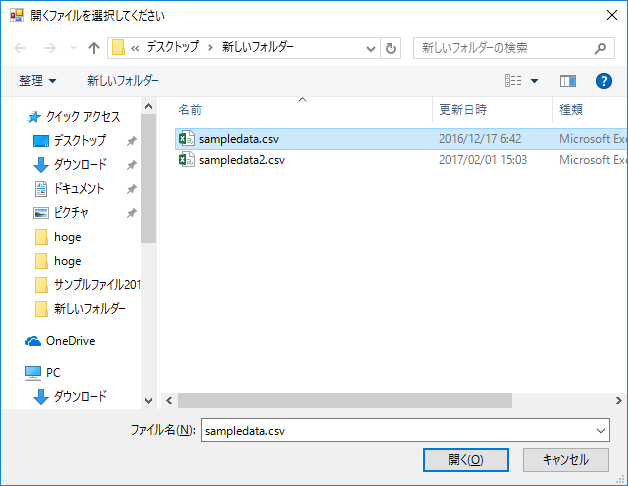
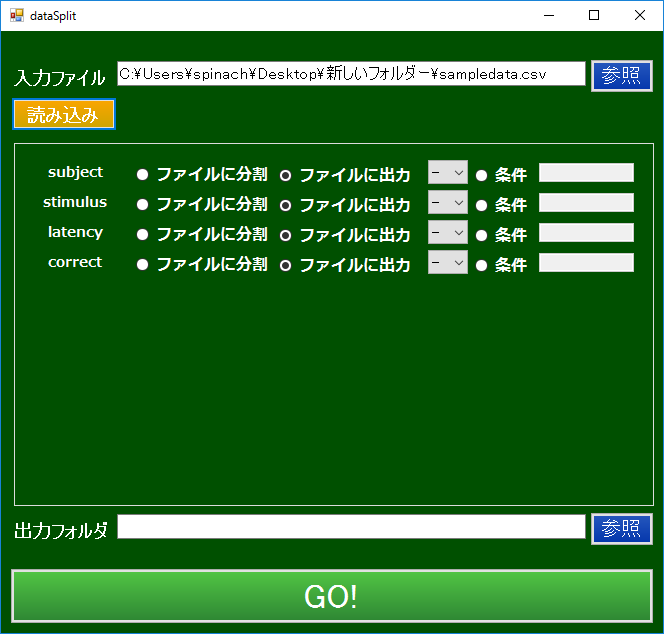


図４　ファイル選択画面

## ファイルの分割条件を指定する

　読み込みボタンを押すと図６のような画面になります。

ファイルの分割、ファイル出力時のカラム順、合致する条件を指定します。



**③**

**②**

図６　読み込みボタンを押した後の画面

## 項目説明

1. ＜ファイルに分割＞　ここにチェックが入っている列名はファイル名になり、チェックが入っている列名ごとに分割されます。
2. ＜ファイルに出力＞　ここにチェックが入っている列名がファイルの中に書き出されます。右側にあるプルダウンメニューで数字を選ぶと、ファイル内で列を指定します。
3. ＜条件＞ここにチェックを入れると条件指定をし、データを書き出すことが出来ます。もし、複数条件を指定するのであれば半角カンマ（,）で区切る事で可能です。

## 出力フォルダの指定

図３の画面より出力フォルダの参照をクリックしていただきますと図７フォルダ選択の画面が表示されます。

この画面より出力されるフォルダを選択し、OKをクリックします。

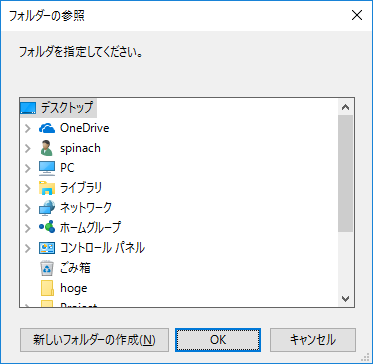


図７ フォルダの参照画面

## 実行

出力フォルダを選んで頂き、データの切り出す条件が指定できたら図８の状態になっているはずなので、GO!ボタンを押すと分割処理が実行されます。

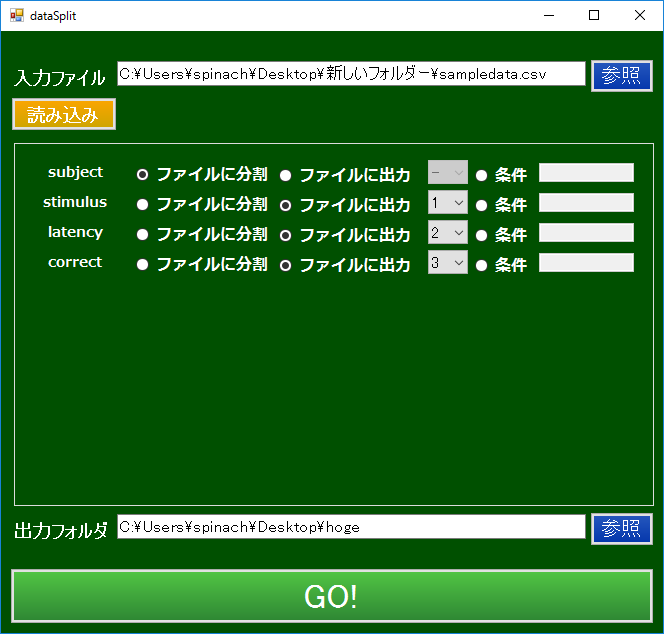


図８　分割実行前

GO!ボタンを押すとGO!の文字が処理中になり、GO!の文字が表示されると分割処理が完了です。

この処理をしているときは最大で１分以上かかる場合もあります。

## 処理完了

処理が完了しますと、図９のような画面が出てきます。

＜はい(Y)＞を押すと、出力フォルダが開きます。

＜いいえ(N)＞を押すと、この画面が閉じます。

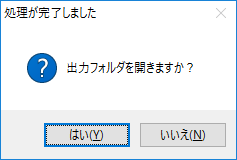


図９　処理完了画面

## ファイルの命名規則

このプログラムから出力されるファイルの名前は下記のルールによって定められています。

* ＜ファイルに分割ラジオボタン＞にチェックが入っていれば [列名―列名の要素]
* ＜条件ラジオボタン＞にチェックが入っており、入力されている条件が１つだけなら、[列名―条件]
* ＜条件ラジオボタン＞にチェックが入っており、入力された条件が２つ以上なら[列名―条件―条件]
  + 以下条件の数ごとに条件が増えていきます。
* 複数個＜ファイルに分割ラジオボタン＞にチェックが入っていれば[列名―列名の要素＿列名―列の要素]
* ＜ファイルに分割ラジオボタン＞にチェックが入っており、条件ラジオボタンにチェックが入っていれば[列名―列の要素＿列名―条件]

上記のルールに従い基本的なファイル名は決まっています。

これはチェックされているラジオボタンが増えても上記のルールに従いファイル名が決まります。

## 検索条件指定サンプル

1. subjectごとにデータを分割

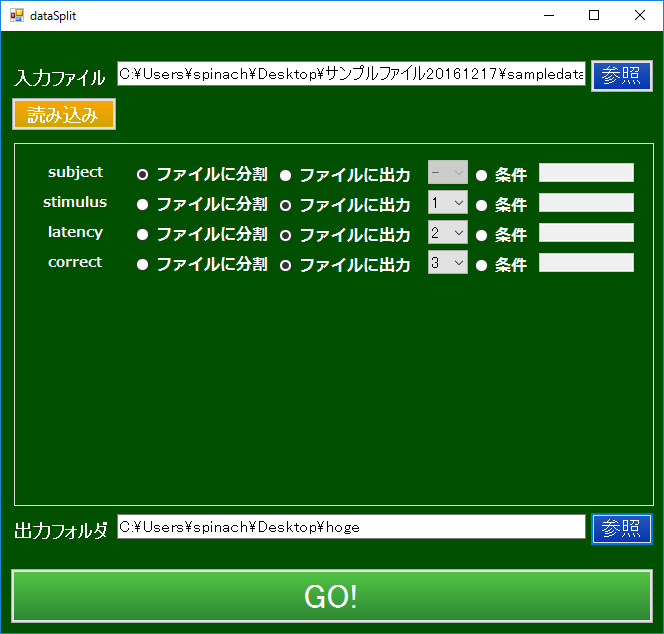


図６－１　subjectごとにデータを分割

図６－１のように指定しているとsubjectごとにデータを分割できます。

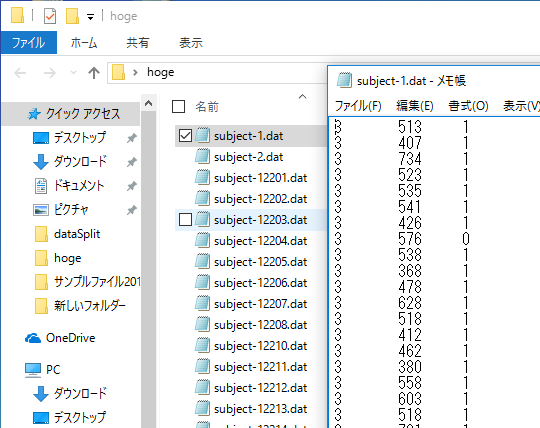


図６－１－１ 出力結果

出力結果は図６－１－１のようになります。

1. stimulusが３でsubjectごとにデータが欲しかったら、

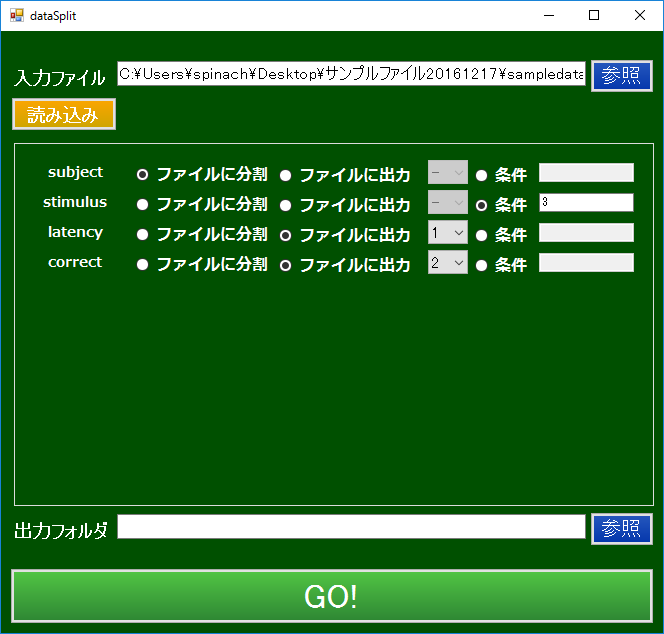


図６－２　stimulusが３でsubject

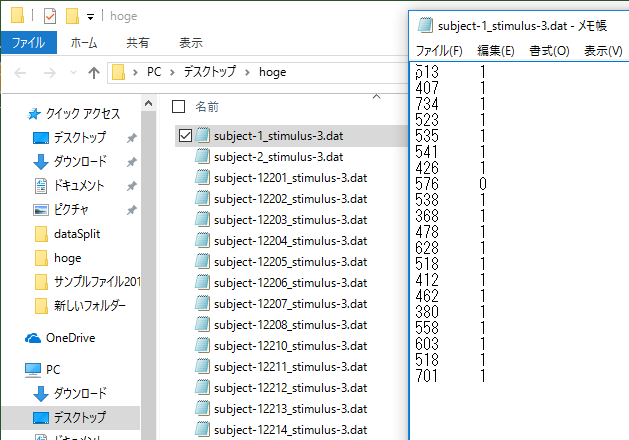


図６－２－１ 出力結果

図６－２のように指定するとstimulusが３の行をファイルに含めsubject毎にデータを出力します。

出力結果は図６－２－１のようになります。

1. stimulusが２か３でsubjectごとにデータが欲しかったら、

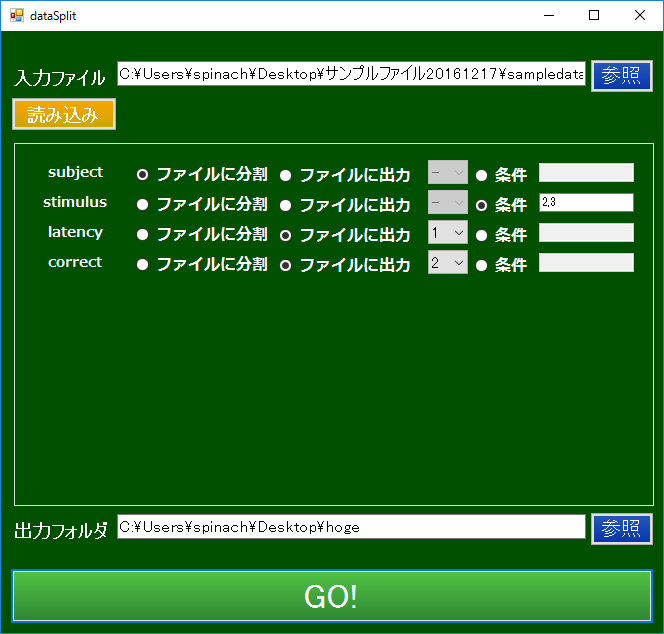


図６－３　stimulusが２か３でsubjectごとに

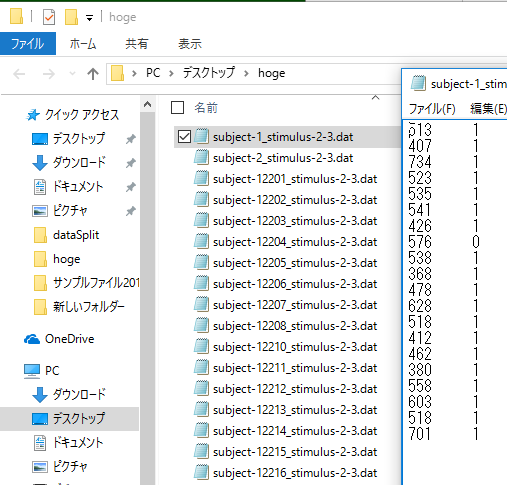


図６－３－１　出力結果

図６－３のように指定するとstimulusが２か３の行をファイルに含めsubject毎のデータを出力します。

出力結果は図６－３－１のようになります。

1. subjectとstimulusごとにデータが欲しかったら、

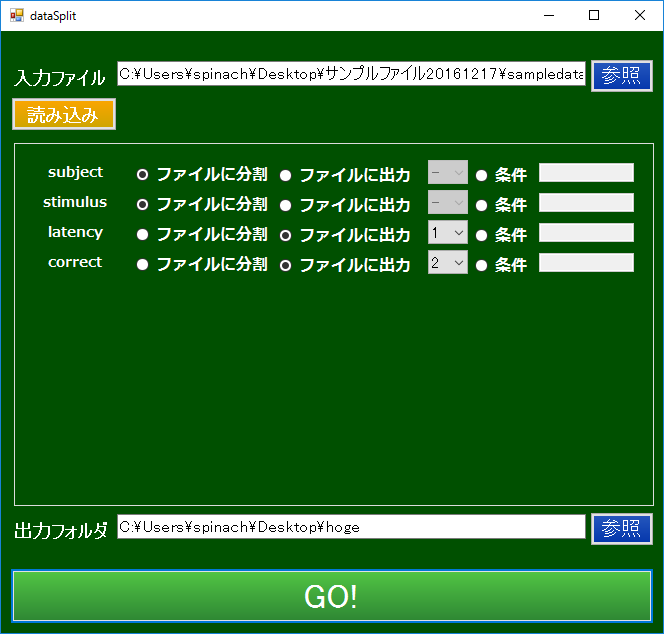


図６－４　subjectとstimulusごと

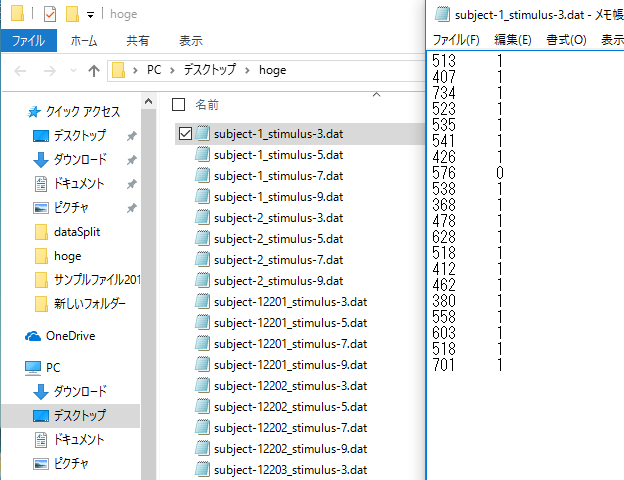


図６－４－１　出力結果

図６－４のように実行するとsubject毎とstimulus毎にデータが分割されます。

出力結果は図６－４－１のようになります。